

## 巻末資料 2 地形モデル作成に関する資料

### 1. 河床地形の簡易計測調査

詳細地区の地形モデル作成において、以下の二級河川等については橋梁からのレッドによる簡易計測により河床高を計測し、その値を参考に地形モデルを作成した。

簡易計測結果は以下の通りであり、計測位置を次頁以降に示した。

表 1-1 簡易計測結果

	1	2	3	4	5
	水深(T.P. m)				
里根川	-0.9	-0.8	-0.8	-0.6	
江戸上川	-0.4	-0.4	2.6	2.7	
塩田川	0.1	0.2	2.7		
関根川	0.1	0.6	0.9	2.1	1.8
小石川	1.2	0.4	1.8		
東連津川	1.2	2.9	10.9		
宮田川	-0.1	13.9			
鮎川	-0.1	14.0			
桜川	3.3	23.9			
金沢川	3.3	23.7			
大沼川	1.1	6.6	14.9		
茂宮川	-0.9	1.3	-0.8		
鹿島港①	0.8				
鹿島港②	1.7	1.2			
鹿島港③	0.7	1.4			
鹿島港④	1.0	1.4	1.3		

※上表は、河口から計測した順の結果を示している。



江戸上川第1橋



小石川第2橋

簡易計測状況

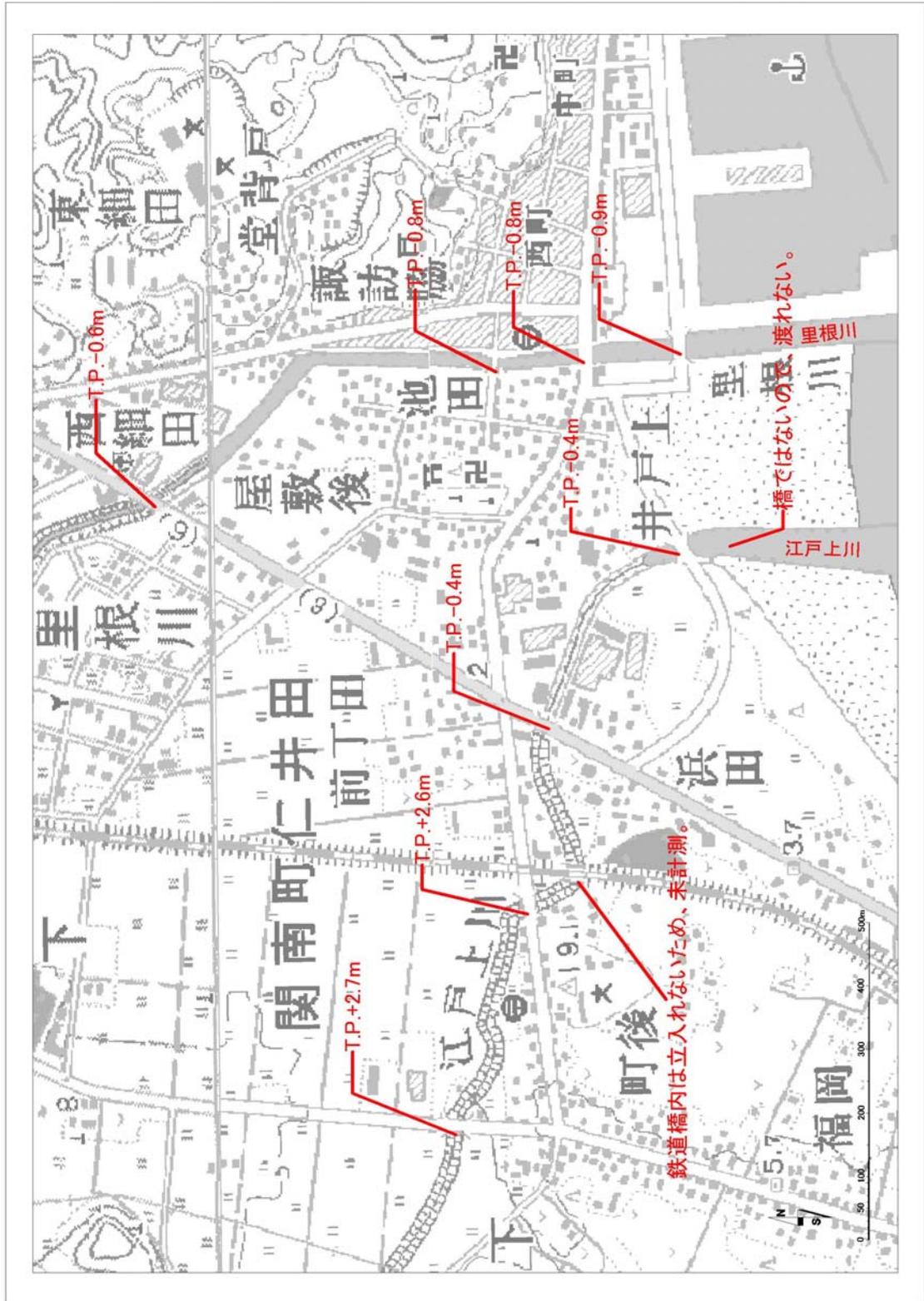


図 1-1 計測位置 1

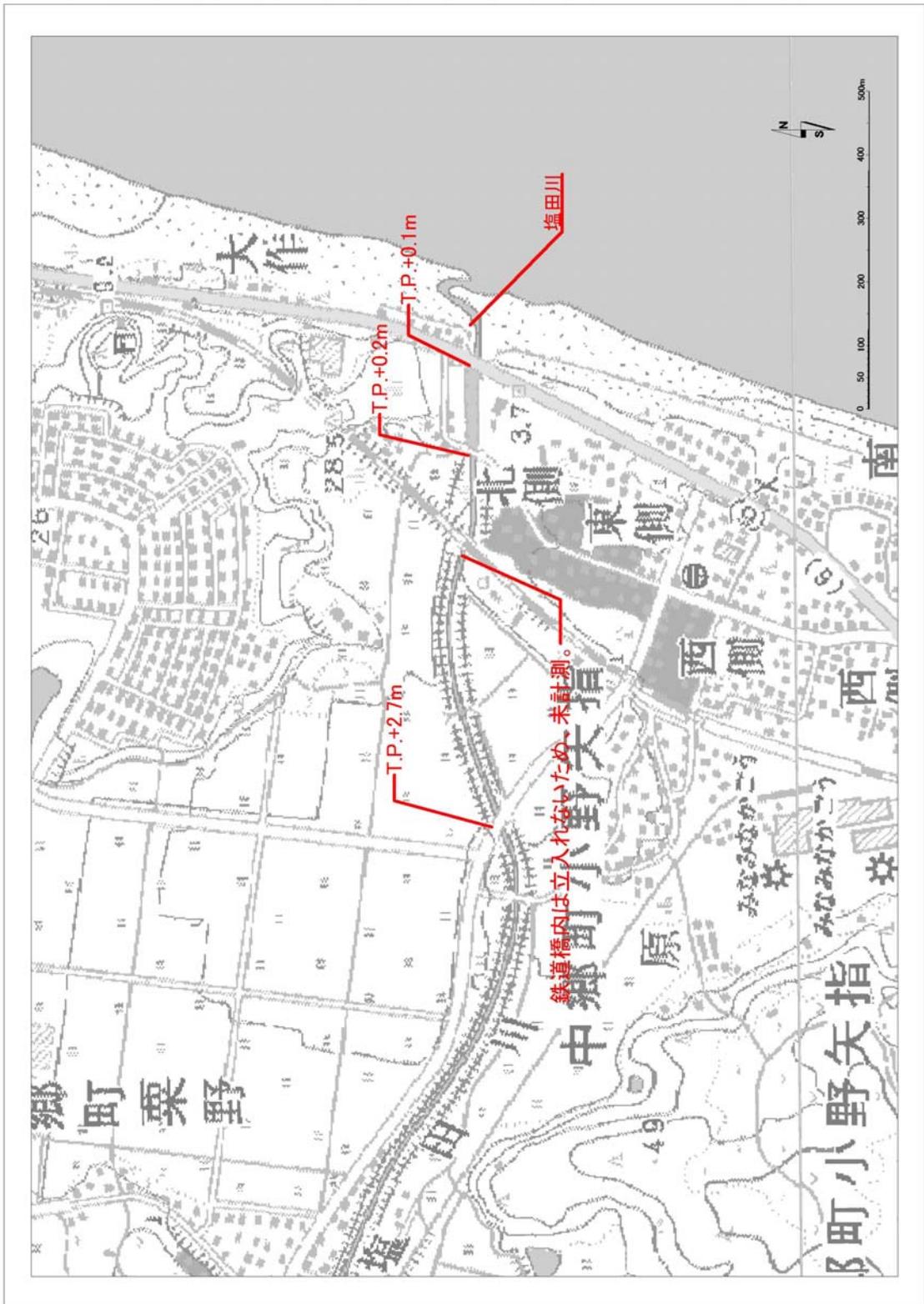


図 1-2 計測位置 2

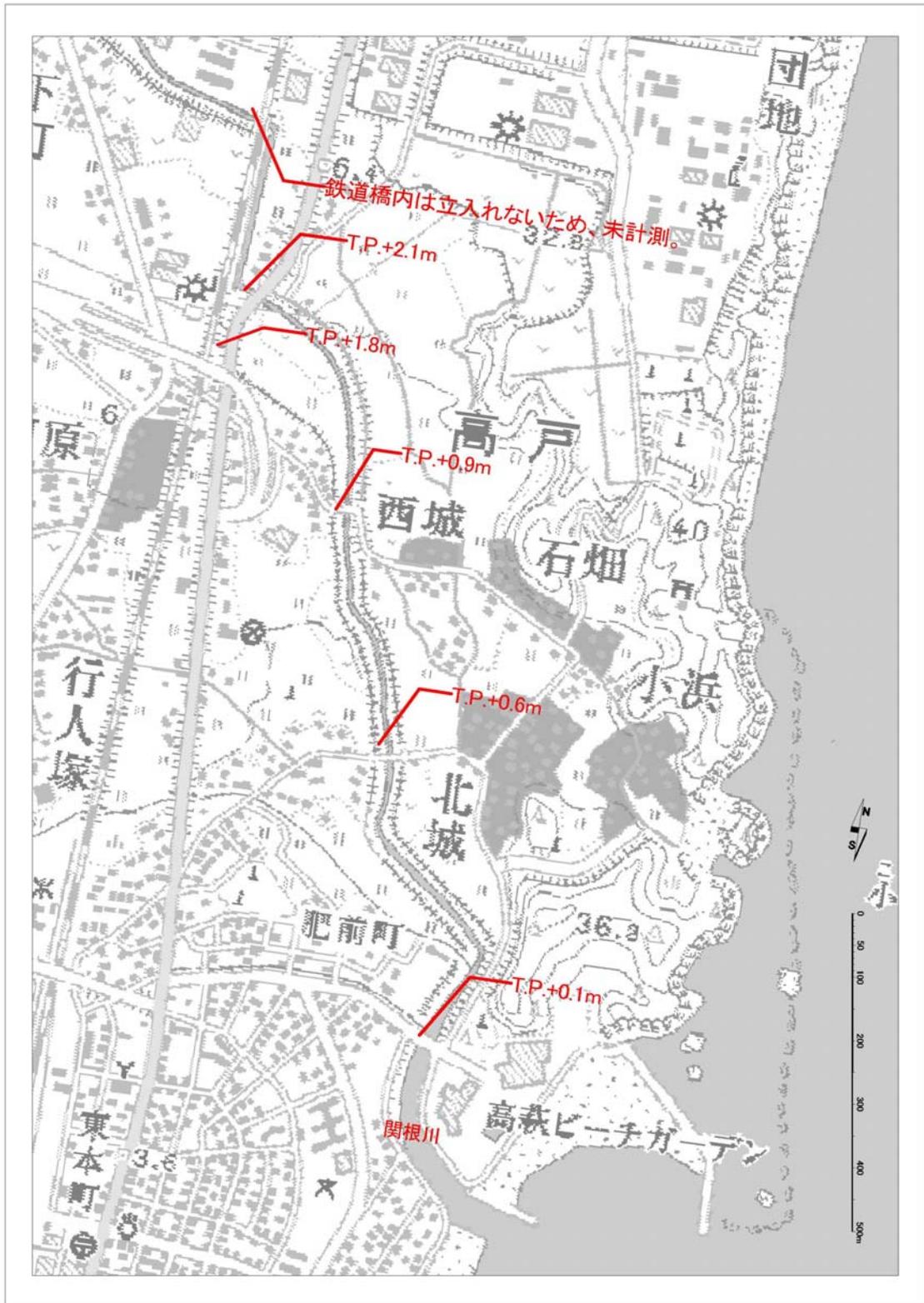


図 1-3 計測位置 3

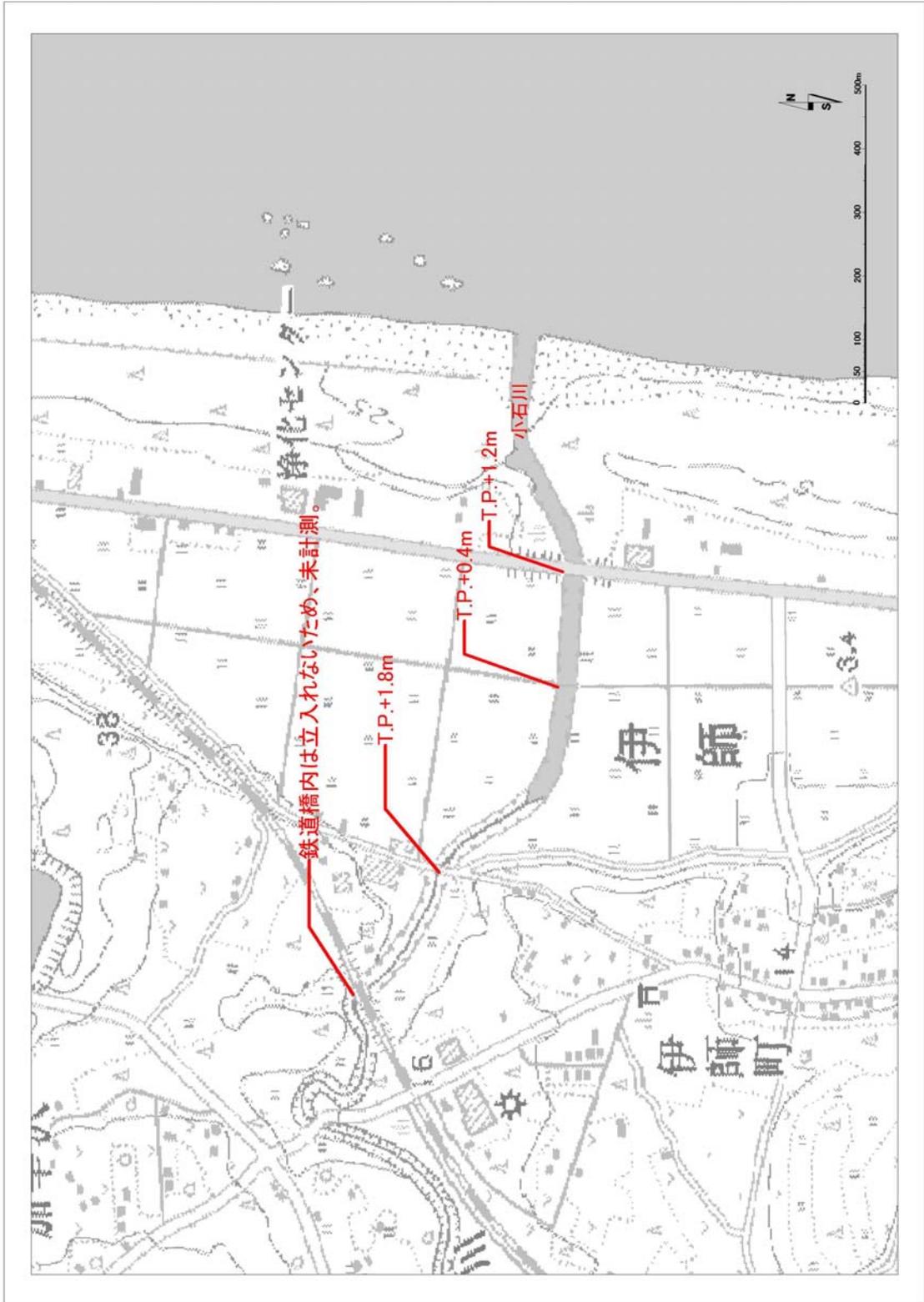


図 1-4 計測位置 4

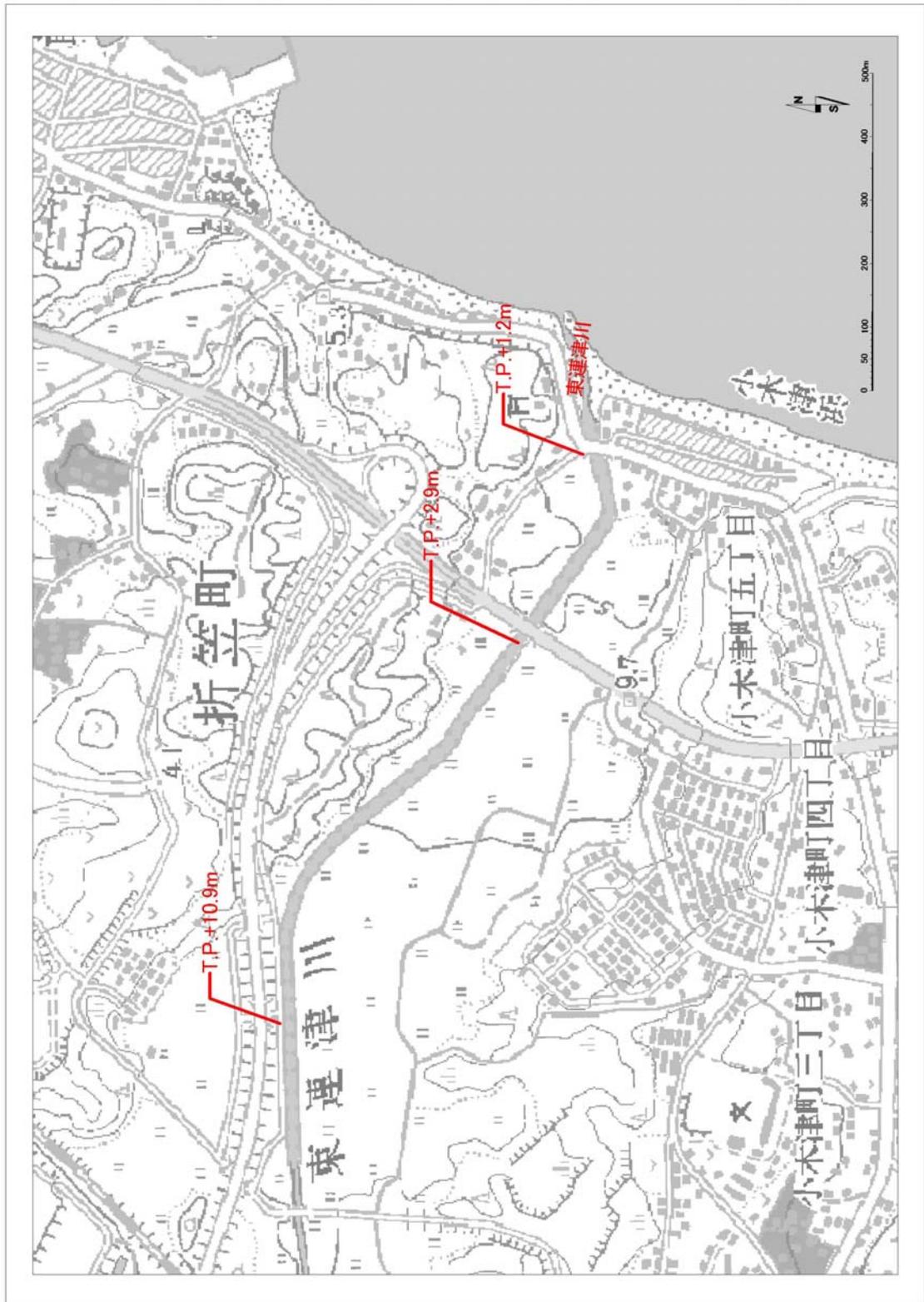


図 1-5 計測位置 5



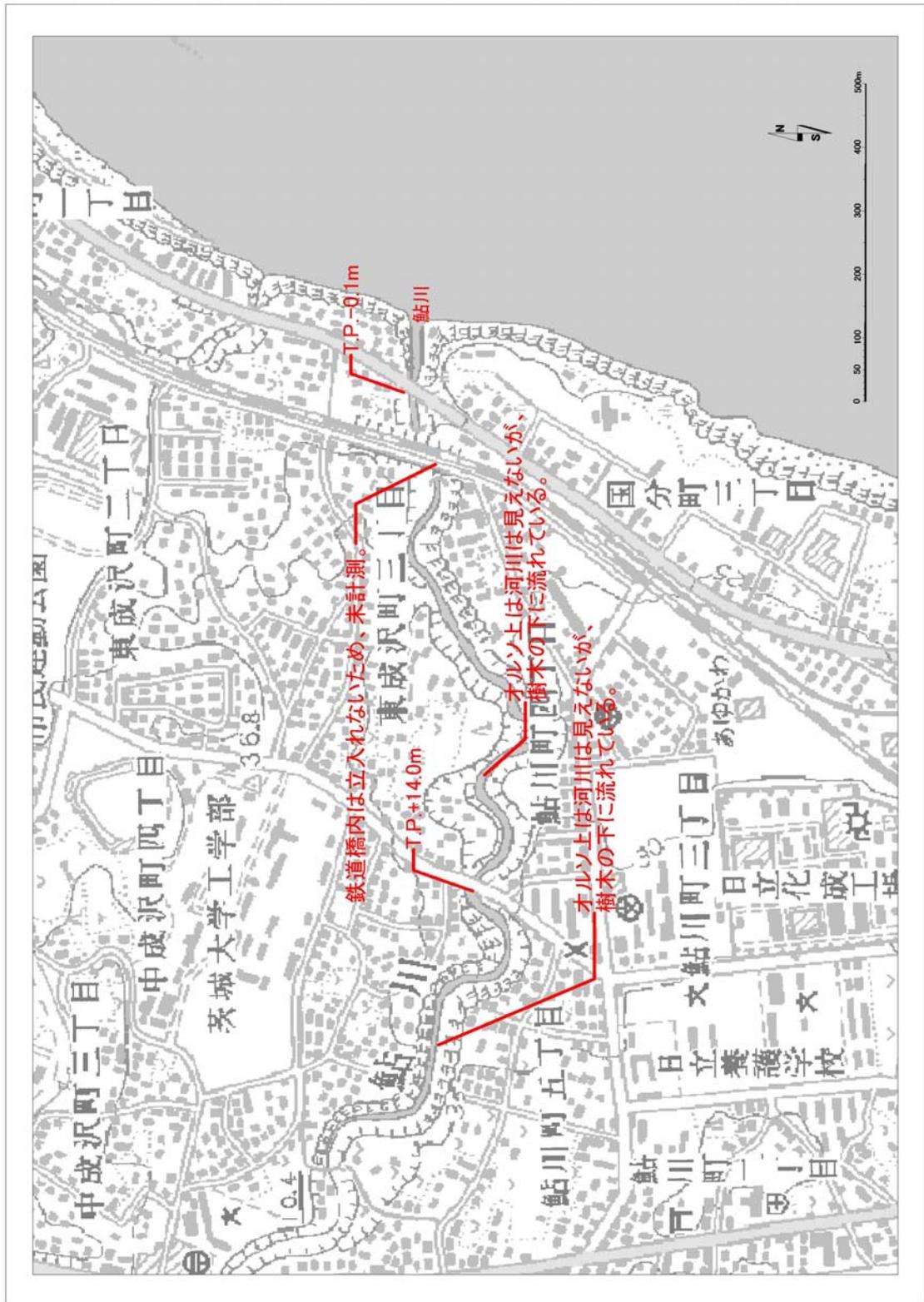


図 1-7 計測位置 7

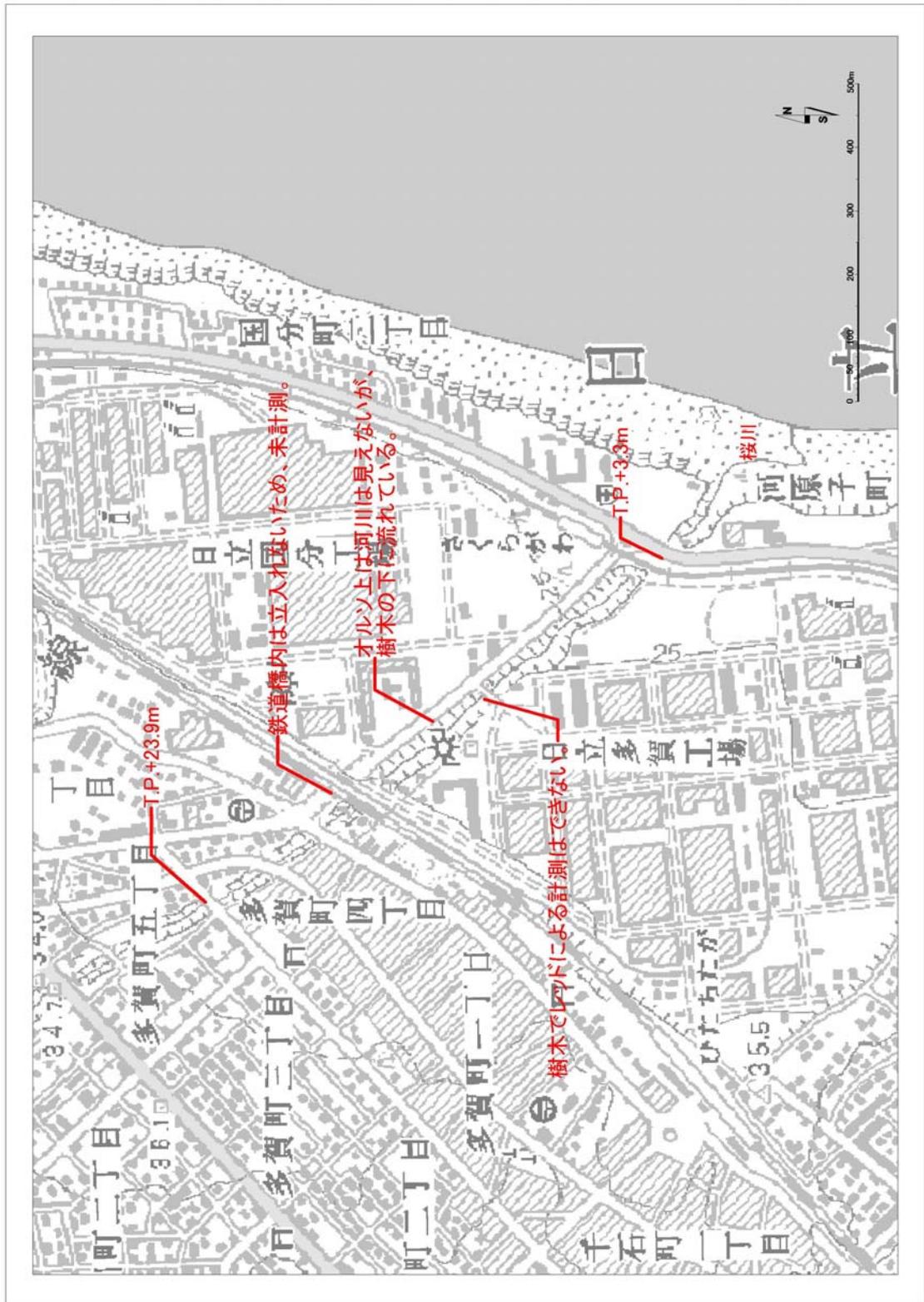


図 1-8 計測位置 8

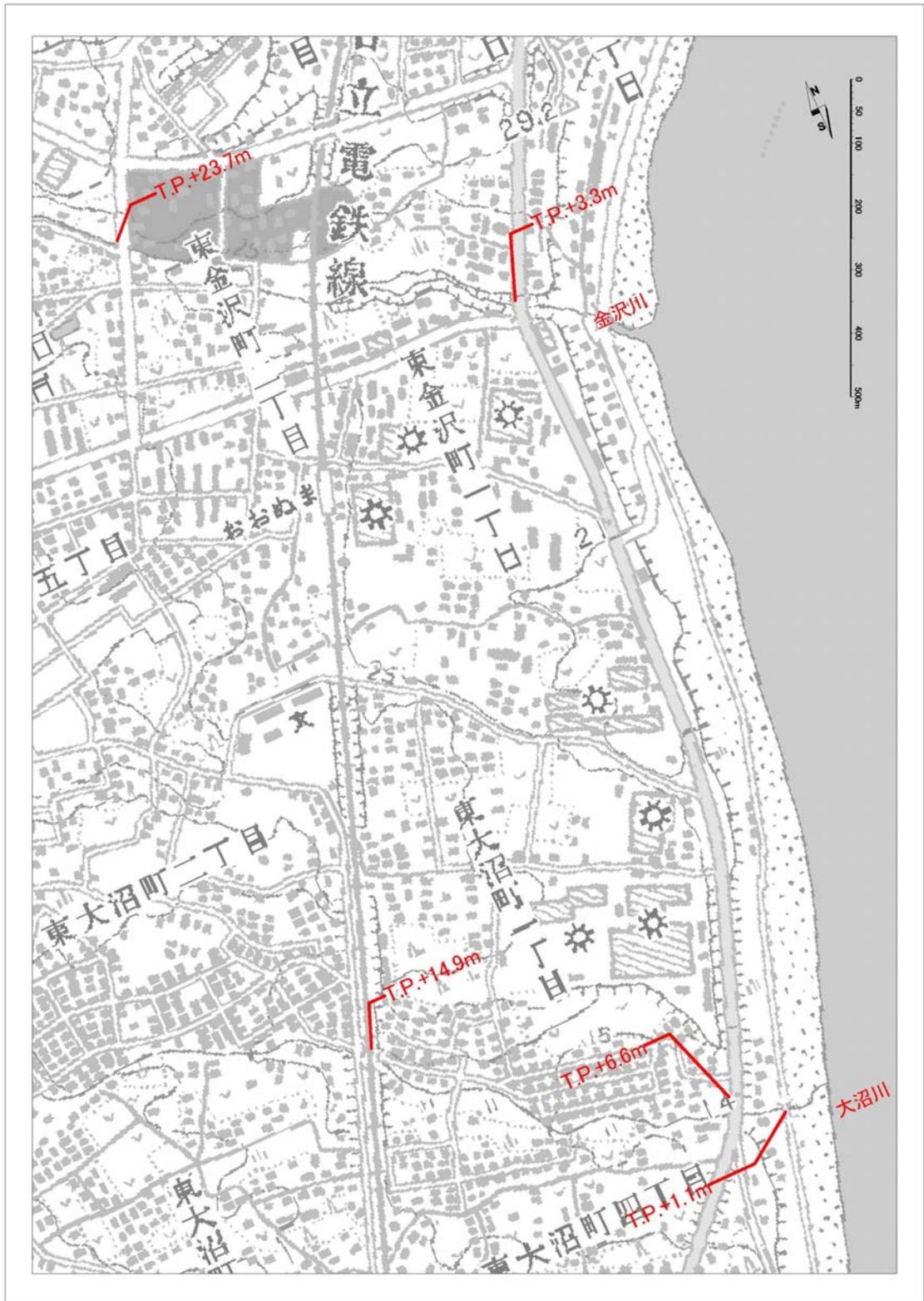


図 1-9 計測位置 9

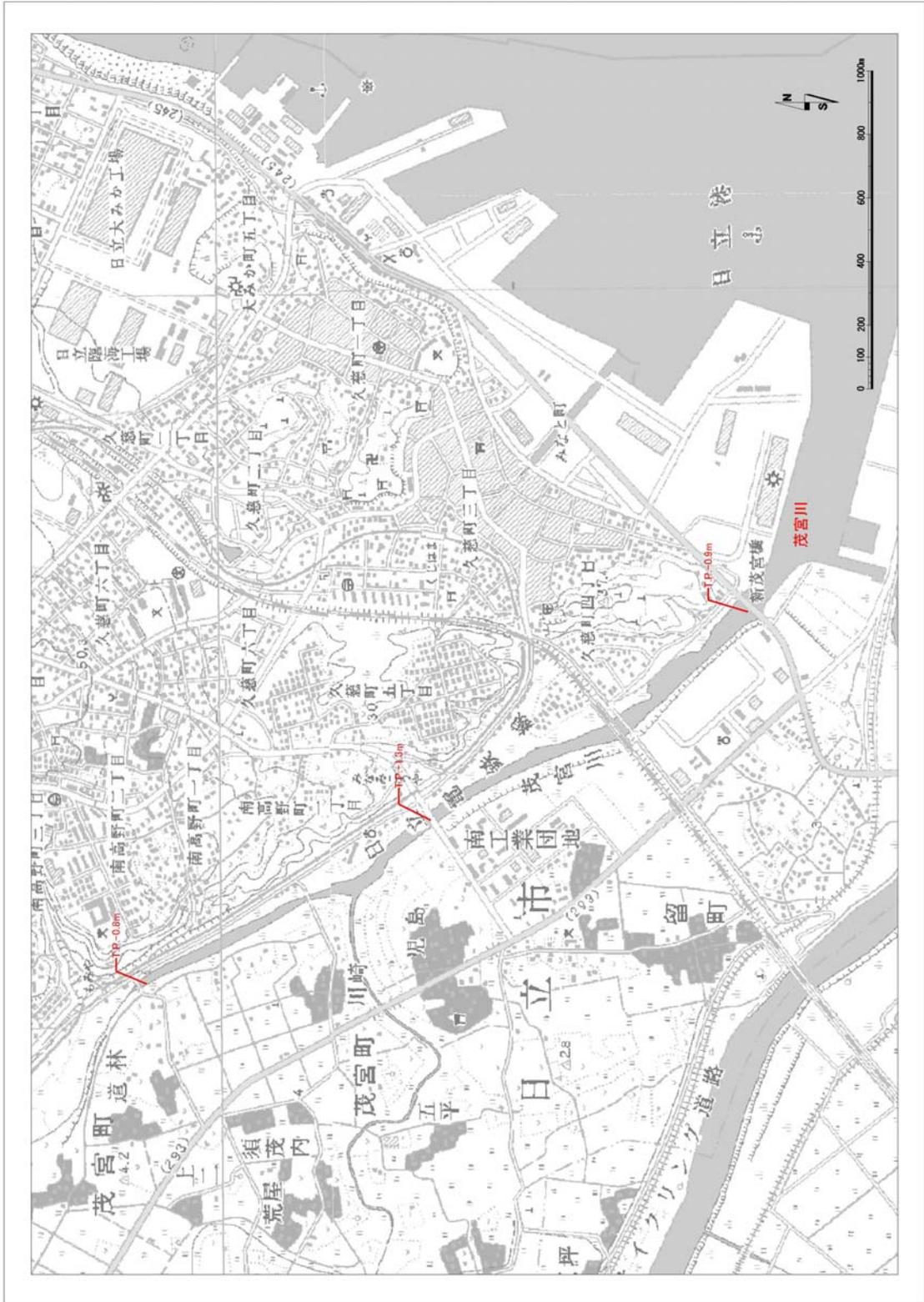


図 1-10 計測位置 10



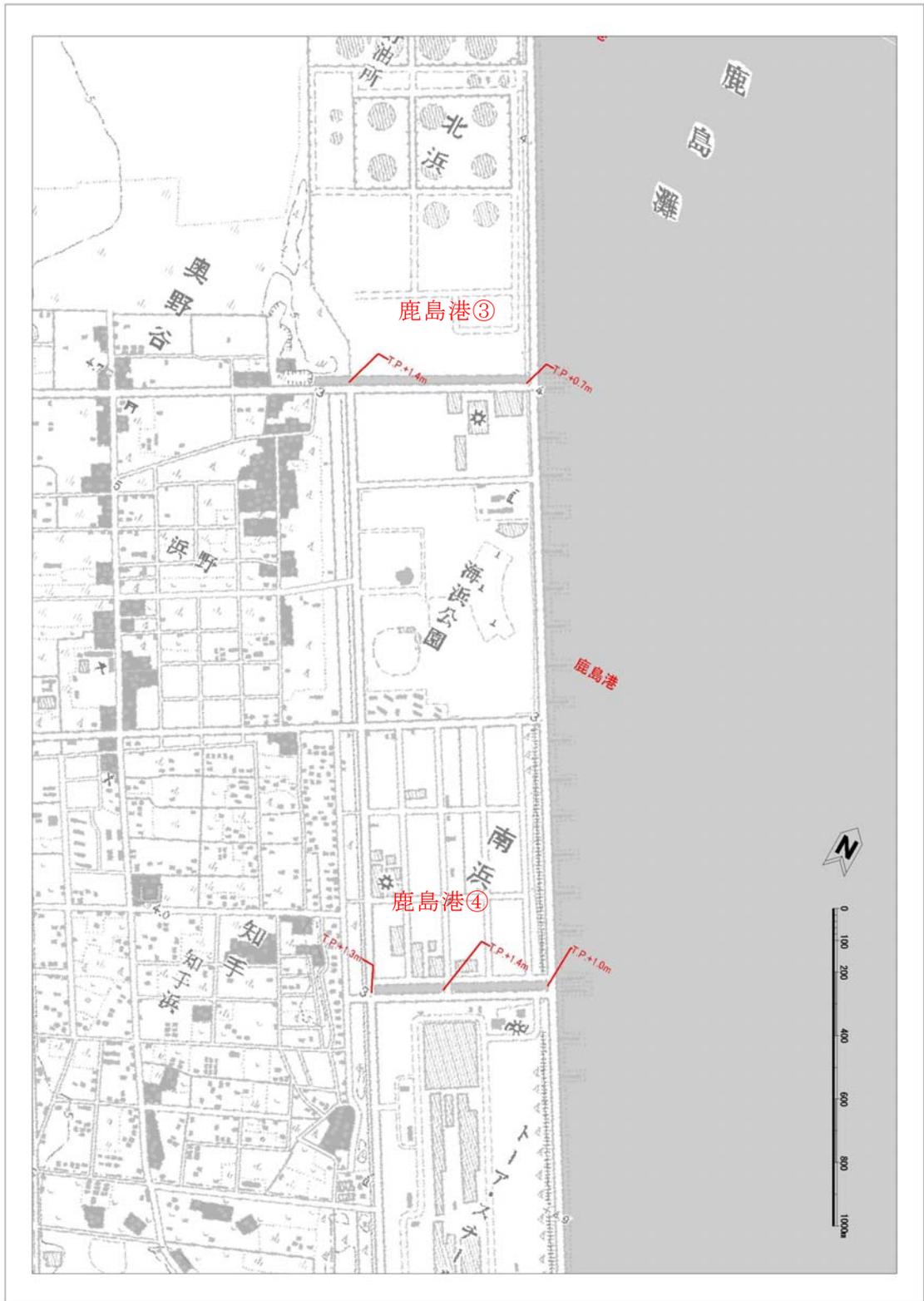


図 1-12 計測位置 12

## 2. 現地踏査写真

津波シミュレーションに用いる地形モデル作成のため、全沿岸の現地踏査を行い、海陸境界および道路・鉄道の盛土等施設の整備状況、人工改変の状況などを確認して地形データの作成に活用した。

また、構造物データの作成においては、資料により構造物の天端高を整理した結果、不明箇所などについてはレーザ計測データ、各関係部局への確認を行うとともに現地踏査時にスタッフ等を用いた簡易計測も行った。

現地踏査時に撮影した現地状況の写真は、市町村別の浸水想定区域図（行政用）に用いることとした。ここでは、主な現地踏査状況の写真を次頁以降に示す。

平潟漁港：港内突堤



小野矢指海岸：護岸の段差



大津漁港：南防波堤の上部工の段差



有明海岸：斜路と階段工



神岡上海岸 護岸の段差



川尻港海岸：緩傾斜護岸と護岸の境界



川尻港海岸：護岸の開口部



日立港：瀬上川河口



日高漁港：護岸と陸閘



豊岡海岸：保安林護岸



宮田海岸：護岸



大洗港：港背後の旧護岸



上沢海岸：陸閘



明石海岸：工所用護岸切欠



大小崎海岸：護岸開口部



下津海岸 海岸背後の土堰堤



清水海岸：海岸への通路



鹿島港日川地区：南浜正面護岸



鹿島港日川地区：護岸



矢田部海岸：砂丘の陸側



鹿島港日川地区：突堤基部



常陸利根川：常陸川大橋左岸から上流方向



矢田部海岸：海岸背後の砂丘



利根川：利根川大橋

